

認知・行動

認知の偏りを理解したうえで視覚化・構造化などを利用して支援を行います
個別によってスケジュールを組み、視覚的に理解しやすいイラスト・絵・実物などで提示し活動を促します。
制作時も、視覚的にわかりやすい様手順書を見て作成しやすいようにします。

